

福音に仕える恵み

2023年8月13日

エペソ人への手紙 3章7～13節

序：キリスト・イエスの囚人 (カエサルの囚人)
" によって捉えられた
" の働きのための僕

神の恵みの務め = 福音を宣べ伝える
主イエス・キリストの教会を建て上げる

御霊によって啓示された奥義
= 今までは（メシア以前）知らされていなかった神のご計画
= ユダヤ人も異邦人も、イエス・キリストを信じて救われ、
一つのからだ（教会）に連なり、天国の相続人となる

パウロは主イエス・キリストの福音の宣教者、教会を建て上げる働きの奉仕者として
召命を受けた使徒

I. 福音に仕える者 — I コリント 15・3～5 (贖いの死、埋葬、からだごとの復活)

神の力の働きによって
与えられた賜物によって (自分の博識や品性のゆえではない)
内側から造り変えられ、新しくされた

ユダヤ教徒 ⇒ キリスト者
冒涇者 ⇒ 聖徒
迫害者 ⇒ 伝道者

使徒たちの中で最も小さな者 (外面) 最も小さな者よりさらに小さい
聖徒 " 自分の卑小さ、神の恵みの絶大さ
罪人のかしら (内面)

II. 使徒パウロの務め (1) キリストの測り知れない富（福音・救いのご計画）を異邦人に伝える 壮大なメッセージ 宣教者は小さい

(2) 創造主の奥義をすべての人に明らかにする
6節 異邦人信者も天的な神の富を相続する（神から付与）
" ユダヤ人信者も一つのからだに連なる
ともに約束にあずかる（聖霊の内住ほかすべての恩恵）

同時に
天使たちにも神の豊かな知恵を知らせる (∵ 単一的にしか知らない)
多彩に 死により命を
罪 義
呪い 祝福
恥辱 栄光

教会を通して (大自然 < 教会) 神の栄光の現れ

私たちの主イエス・キリストにおいて実現された神のご計画による
永遠 ⇒ 時間・空間の世界に全貌を現した

Ⅲ. 結果 (救われた者に及ぼされる恩恵)

誰であれ、キリストにあり、キリストを信じる信仰により神に近づくことができる

①神の約束を信じる

②それによって確信を持ち、心に平安を得る

③そこから、大胆さが生まれ、恐れを取り去られ、大胆に絶えず神に向かう

Ⅳ. この世の判断基準と信仰者のものさし

成功・健康・順調・富＝ 吉・福・幸

失敗・病氣・不調・貧＝ 凶・禍・不幸

パウロ自身と周囲の人々

挫折・逆境・病などの苦難は、仕えている主、神の愛や真実や義を疑う原因になりえる

神への反論・疑い・うらみを抱いても不思議ではない

パウロの苦難の理解 ＝ エペソの聖徒たちへの神の大きな愛の証し
異邦人伝道の価値の高さの証明

Ⅴ. 適用

(1)神は万物の創造主、私たちは造られたもの

存在の原因・目的は神にある

神の無限・偉大さ・聖 VS 自分の有限・卑小・汚れ

(2)神の永遠のご計画は永遠の昔から用意されていた (×人の考え・思いつき)

それは時満ちて、必ず実現する (敵対する者の妨害・攻撃がすさなじくとも)

(3)ご計画をいつまで隠すか、いつ明らかにするか、どのような方法ですか

神の主権にもとづく

(4)教会は神に創造されたすべてのものより、貴重であり美しい

なぜなら 神の最終目的

払われた代価の絶大さ ゆえ

神の子ども、天国の国籍をもつ者とされたゆえ

(5)救われ、神に仕える光栄にあずかった者は、世のものさしで吉凶福禍を云々

せず、神の基準に従うことが、安全、安心、楽

(6)神はすべての人・すべてのこと・すべてのものに対し報いを与えられる

救われた者はよきわざをもって、福音を飾る (召命に応えることによって)